



一般財団法人 Ruby アソシエーション
2019年度 第1回定時評議員会 議事録



- 1 開催場所：公益財団法人 都道府県センター 都道府県会館 4F 408 会議室
東京都千代田区平河町 2-6-3
- 2 開催日時：2019年6月18日(火) 14:00～15:00
- 3 評議員総数及び定足数：現在総数13名、定足数7名
- 4 出席評議員数：9名
(本人出席) 石川明、出田健二、大場寧子、後藤裕蔵、立久井正和、
羽田昭裕、平松知江子、森正弥、吉田正敏
(欠席) 及川喜之、最首英裕、中島宏、吉岡宏
- 5 出席理事：松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、田中和明
- 6 事務局：前田修吾、横田早百合、江角治尚、江角俊秀
- 7 オブザーバー出席：千種実((株)日立ソリューションズ)
清水英彦((株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ)
高橋征義((一社)日本Rubyの会)、前田健一(島根県)
大谷利行(松江市)、本田智和(松江市)、岩田輝(松江市)

以上のとおり評議員の出席があり本評議員会は適法に成立したので、出席評議員から後藤裕蔵が議長として選出され開会を宣し、出席評議員から森正弥、吉田正敏が議事録署名人として選出された。先ず、冒頭で松本理事長より有意義な財団事業の実施に向け本日の議事進行、協議に期待する旨の挨拶があり、続いて議事に入った。

8 内容

■第1号議案：2018年度事業報告書

議長が事務局に報告を求め、前田事務局長が別添資料1に基づき2018年度事業報告書の説明を行った。
議長が本審議事項につき可否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認可決した。

■第2号議案：2018年度決算について

議長が事務局に報告を求め、横田事務局員が別添資料2の下記の書類に基づき、2018年度決算報告書の説明を行った。

(1) 貸借対照表 (2) 正味財産増減計算書 (3) 財産目録 (4) 財務諸表に対する注記

また、別添資料3の今岡監事による監査報告書に基づき、上記の書類につき監査した結果、いずれも正確かつ適切であることが認められた旨を報告した。

以下、質疑応答。

大場評議員：前年度に比べて事業収益が増えているがこれは何が寄与したのか。

横田事務局員：前年度に比べてRuby技術者認定試験の受験者数が100名近く増えたことが寄与している。

最後に、議長が本審議事項につき可否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認可決した。

■第3号議案：理事及び監事の選任について

議長が事務局に説明を求め、横田事務局員が別添資料4に基づき、理事6名(松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、田中和明及び山根泉)、監事(今岡正一)が本定時評議員会の終結の時をもって任期満了することから、後任の理事を選任する必要がある旨を述べ、候補者ごとに議決に付したところ全員異議なく下記の者を選任可決した。

理事 松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、田中和明

監事 今岡正一

■第4号議案：評議員選定委員会の委員の選任について

議長が事務局に説明を求め、横田事務局員が別添資料5に基づき、選定委員会の委員となる評議員(立久

井正和)が本定時評議員会の終結の時をもって任期満了することから、後任の委員を選任する必要がある旨を述べ、候補者を議決に付したところ全員異議なく下記の者を選任可決した。

評議員選定委員 立久井正和

松本理事

■報告事項1：2019年度事業計画書について

議長が事務局に報告を求め、前田事務局長が別添資料6に基づき、2019年度事業計画書について説明を行った。

以下、質疑応答。

羽田評議員：新たに就任された島根県知事には引き続き顧問をお願いするのか。

前田事務局長：先日松本理事長、井上副理事長、事務局長の私で県庁にご挨拶に伺い、書面でも顧問の依頼をしてご快諾いただいている。

上記の議

■報告事項2：2019年度予算について

議長が事務局に報告を求め、横田事務局長が別添資料7に基づき、2019年度予算について説明を行った。以下、質疑応答。

吉田評議員：Ruby開発及びその他支援事業について増えている予算の内、人材育成に関することはどの程度あるのか。

前田事務局長：現状の増額分に関しては主に公募型開発プロジェクトの採択件数を増やすというところに予算を割いている。人材育成という意味では、Rails Girlsの講師費用等を負担してほしいというお話をいただき、そちらの協賛をさせていただく予定がある。Rails Girlsに限らずそういった団体等からの要請があればその他の助成という枠で対応していくので、そういったお声があれば是非お聞かせいただければと思う。

森評議員：IssueHuntのようなものを検討する余地はあるか。

松本理事長：開発者に対して何か還元する方法があればよいとは思いますが、どういうかたちがよいかは検討する必要がある。

■報告事項3：評議員の任期満了・選任について

議長が事務局に報告を求め、横田事務局長が別添資料8に基づき、評議員の任期満了・選任について説明を行った。

改選後の評議員(10名) 出田健二、大場寧子、後藤裕蔵、立久井正和、中島宏、
羽田昭裕、森正弥、吉田正敏、清水英彦、千種実

■その他：イベントについて

議長が事務局に報告を求め、江角治尚事務局員が別添資料9に基づき、2019年度のイベント(Rubyビジネスセミナー等)スケジュールについて説明を行った。

■その他：意見交換など

森評議員：SNS等への投稿にRubyアソシエーションのサイトへのURLをリンクすると表示されるサムネイルについてももう少し工夫が必要かと思う。

前田事務局長：事務局で改善を検討する。

大場評議員：公募型開発プロジェクトの採択件数を増やすとのことだが、これまで採択したものへの満足度は高く今後もっと並行して動かしたいということか。額を増やしたいというニーズはあるか。

前田事務局長：委員会内で、額を上げるよりも件数を増やしたいというご意見が多かった。

松本理事長：当初は額を提示していただくということをやっていたが、その額が正当かどうか判断するのが難しいという課題が出てきて、現状の1件あたりの額を固定するというかたちに移行した経緯がある。

大場評議員：満足度に差が出た場合、追加報奨が発生したりなどといったことはありえるか。

松本理事長：追加報奨などの対応を行うのが好ましいと思われるケースが出てくれば対応を考えていく。

森評議員：Deep LearningについてRubyも何か取り組みができるとよいと思っていて、テキストデータ

のデータオーギュメンテーション技術関連のライブラリ開発において、パターンマッチやそのスクリプト言語としての強力な表現力を持つRubyに何かできることはあるのではないかと。松本理事長：Red Data ToolsプロジェクトやSciRubyプロジェクトなど様々なアプローチがあるなかで、短期的・長期的な両視点で今後も取り組みを続けていく。

上記の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2019年6月18日

一般財団法人Rubyアソシエーション評議員会



議長

後藤 裕蔵



議事録署名人

森 正弥



議事録署名人

吉田 正敏



